

副審用 審判マニュアル

【保存版】

	副 審	危 機 管 理
準 備	<ul style="list-style-type: none"> 記録員、線審とともに記録席へ集合する 公式記録用紙、エントリー用紙の準備 記録用紙にエントリー通り選手の背番号とキャプテンの○印が書かれているかを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> マスクを着用し、入口で手指消毒してからフロアに入る 水分補給用ドリンク（記録席の下に置いておく） 笛を使用する場合は、マスク・バンダナ等、各自吹笛しやすいもので笛を覆うこと
試合前	<ul style="list-style-type: none"> トスに立ち合い、記録員がサービスオーダー票を正しく転記しているか確認する 公式ウォームアップの計時をし、最初に開始したチームのウォームアップ時間の終了時に交替を吹笛で合図する 試合に参加できる競技参加者（監督・コーチ・マネージャー）の確認 サービスオーダー票、エントリーの背番号を確認する 番号がない場合は主審に報告し、チームキャプテンに確認する 両チームの先発選手がエンドラインに整列したとき、サービスオーダー票によりサービス順を確認する（記録員と個別に確認） 	<ul style="list-style-type: none"> トスの時はマスク着用で、両チームキャプテンと握手はしない 記録用紙へチームキャプテン・監督からサイン採録はしない
試合中	<ul style="list-style-type: none"> 記録員とサービス順の確認をし、定位置につく 主審が吹笛した時にはハンドシグナルを出さずにラリーに負けたチーム側へ移動する。主審がポイントのシグナルを出す前には主審と目を合わせるようにする ラリー中必要に応じ主審の補佐をしてシグナルを送る 主審がその判定を受け入れない時は強要せずやめる 副審が吹笛してラリーを止めたときは反則チーム側へ移動しハンドシグナル、反則した選手を示す。ポイントのハンドシグナルは主審に追従する ワンラリーごとチームからの要求はないかベンチを確認し選手交代やタイムアウトの要求にタイムリーに対応する 各セットいずれかのチームが11点先取で給水タイムの吹笛をする15秒計時、終了の吹笛、チームにすばやくコートへ戻るよう促す 選手交代の要求は交代選手に選手交代ゾーンに入ってもらい吹笛をする（監督がシグナルをしていたときは交代選手に選手交代ゾーンに入ってもらおうよう促す） 	<ul style="list-style-type: none"> 笛を使用する場合、フェイスシールド・マスク等で飛沫防止対策をする 電子ホイッスル使用時、両チームに聞こえるように長めに鳴らす （夏季）各セット11点で給水タイム（15秒間）を設けるので吹笛する [3セット目の場合は先にチェンジコートを行う] セット間・タイムアウト時、消毒液をかけたペーパータオルでボールを拭く 試合球は2個制で行うので、適宜 ボールを交換する ボール交換時の消毒は、記録員と協働で行う セット間・タイムアウト時・給水タイム時、チームが密にならないよう注意する 熱中症予防に、セット間・タイムアウト時・給水タイム時など水分補給をこまめに行う 笛を使用する場合、くわえる部分を直接触らないように注意する

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不当な要求とその処置（ルールブックP96 3-6-3参照） ・ 2組以上の選手交代の要求は記録席前に2組目以降待機させる記録員と目を合わせ片方の手が上がったら速やかに交代させる記録員から両手が上がってから2組目の交代選手をサイドラインに導き、1組ずつ確実に処置をする ・ 監督またはゲームキャプテンからタイムアウトのハンドシグナルを用いて要求していることを確認し要求を受ける ・ 2回目のタイムアウトの時はその30秒間の間に主審に回数を報告しタイムアウト終了後、サービスチームにボールを送り、監督またはゲームキャプテンに回数を通告する ・ 各セット終了を記録員と確認し、終了を主審に伝える 	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">副審の吹ける7つの反則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 サービス順の誤りがあったとき 2 サーバーが副審側のサイドラインを踏み越してサービスしたとき 3 ボールが副審側のアンテナに触れたとき、またはアンテナ外側を通過したとき(第21条2に該当する場合を除く) 4 ボールが副審側アンテナ外側のネット・ロープ・支柱に触れたとき 5 ボールが主審の後方通過したとき 6 ボールが主審の見えない位置で床面や外部の物体に触れたとき 7 タッチネットの反則があったとき </div>
セット間	<ul style="list-style-type: none"> ・ セット終了から2分間計時する 最終ラリーのサービスチーム、サーバーの背番号を覚える ・ 前のセットの交代をサービスオーダー票に転記し(ベンチも)監督またはチームキャプテンに選手交代を確認し、その内容を記録員に伝える ・ 記録員が次セットのサービスチーム、サービス順を正しく記載しているか確認する ・ セット間終了の吹笛をし、両チームのサービス順を確認し記録員とともに主審に合図を送る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームと会話する時は、距離を保つよう注意する (セット間の選手交代確認時など)
試合後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審判台左側に行き挨拶する サービスオーダー票を各チームに返却する ・ 公式記録用紙に記載されている内容を確認しサインをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録用紙へチームキャプテンからのサイン採録はしない ・ 電子ホイッスル、ハンドベル、フラッグ、記録席、点示板、イスの消毒など線審、点示員にも協力をしてもらう ・ 笛を使用した場合、洗浄またはハンカチ等で拭くようにする (首からぶら下げたまま移動しない) ・ 消毒液をかけたペーパータオルを主審と協働して配布する ・ チームに使用したイスを消毒してもらう 使用したペーパータオルを記録席のごみ袋に入れてもらう ・ チームの審判員と密にならないようにしながら審判席へ移動する (会話は控える) ・ 必ず手指を洗浄し、その後消毒しておく